

R 6 年 度 鳥 羽 志 摩 中 学 校 新 人 大 会 (バレーボールの部)

1. 日 時 : 9月22日(日) 予備日 10月6日(日)

2. 会 場 : 鳥羽市民体育館 開会式 9:20 (開場 8:00)

3. 使用球 : 人工皮革4号検定球カラーボール(ミカサ)

4. 責任者

総務	競技	審判	会場	会長	養護	専門部長
田中 志摩中	東 文岡中	山本 磯部中	上村 鳥羽東中	大木校長 志摩中	郷さん 志摩中	東 文岡中

5. ルール : 2024年度(財)日本バレーボール協会制定の6人制規則に則る。

6. 熱中症対策 : ・活動場所のWBGTを定期的に(1時間に1回程度)測定する。
・場内アナウンス等により、参加者への熱中症の注意喚起を行う。
・活動場所のWBGTが31℃以上の場合は、一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
・検討後、再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。

7. 競技方法 : ・全試合3セットマッチとし、トーナメント戦で行う。
・ベンチ入りは、監督、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名以内とする。
(必要に応じ、教育的な配慮とする。)
・監督、コーチは当該学校の教職員とする。ただし、学校長が認めた外部コーチ(継続的に指導にあたり、教育的配慮のできる社会人)のベンチ入りを認める。
マネージャーは当該学校の教職員・外部コーチまたは生徒とする。
・監督、コーチ、マネージャー、主将は規定のマークを所定(左胸)の位置に付ける。
なお、監督、コーチは服装を統一することが望ましい。
・審判・ラインジャッジ・点示・記録・アシスタントスコアラーは審判の割り当て表の通りに行う。
・コートが濡れた場合は、基本的にコート内の選手がワipingをする。(タオルを持たせる。)モップが必要な場合は、副審の指示のもとベンチの選手で行う。
・試合(IF)終了後、5分間の合同練習を行う。その後にプロトコール。試合が連続するときは、15分試合間隔をあける。(10分コートをあけ、5分合同練習)
*熱中症対策として、WBGTの数値や選手の状況を見て、試合間隔を25分とする場合がある。
・開閉会式においては、選手はユニホームで、マネージャーはジャージで整列する。
・各セットのどちらかのチームが13点とったときと30対30になったとき、WTO(30秒)をとる。副審がシグナルなしで汽笛をする。速やかにウォームアップエリアに移動して給水する。

7. 組み合わせ: 別紙

8. その他：
- ・表彰は、優勝・準優勝とする。
 - ・選手宣誓は、磯部学校が行う。
 - ・開会式で優勝旗の返還を行わない。閉会式では優勝旗授与を行う。
 - ・急病やケガが発生した場合には、救護担当者が応急処置を施すが、その後は顧問や引率者で速やかに医療機関へ移送する。
 - ・貴重品や荷物は各チームで責任を持って管理する。
 - ・開会式閉会式を行う。開会式には全チームが出席すること。
 - ・天候により、鳥羽市定期管島航路が運休や朝のみの一時運休の場合は、大会を延期する。その際、大会本部により6：00～6：30の間での判断とし6：30に各校に連絡をする。
 - ・大会中に地震・津波等にたいして何等かの警報・注意報が出された場合は、大会長の判断のもと、指示に従って会場にいるすべての人は行動する。

合同チーム

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・鳥羽東中学校と加茂中学校が吸収型の合同チームで出場する。・チーム名は連名表記となる。・ユニフォームは自分の出身中学校のものを着てもよい。 |
|---|